

令和7年度指定管理者モニタリング結果

施設名・住所	千歳市営牧場・育成畜舎（千歳市駒里1032番地の1ほか）
指定管理者	公益財団法人道央農業振興公社
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5か年の4年目）
評価担当	産業振興部 農業振興課
1 実施事業及び内容等	・育成牛の通年管理 放 牧 5月15日～10月15日（154日間） 育成畜舎 4月 1日～5月14日、10月16日～3月31日（211日間） ・預託牛の入退牧業務 ・預託牛の健康管理及び授精に付帯する業務 ・採草地、飼料畑の生産管理に関する業務 ・農業機械及び牧場施設の管理業務 ・市営牧場利用料の徴収業務 ・管理報告業務 等
2 年間利用頭数	5月の入牧頭数は令和6年度から6頭増加し、継続牛の頭数は36頭減少したことにより、5月末の在頭数は406頭となった。 《主な利用状況》（ ）は令和6年度実績 ・預入酪農家戸数 15戸（15戸） ・5月在頭数 406頭（436頭）、育成畜舎頭数 287頭（286頭） ・延受入頭数 102,295頭（106,254頭） ・管理施設の利用状況【資料1】
3 事業収支 ＜決算状況（税込）＞	・収入合計 46,871,434円（48,688,560円）（ ）は令和6年度実績 《主な内訳》 - 指定管理料 23,967,000円（23,967,000円） - 利用料金 22,630,740円（23,794,940円） ・支出合計 50,802,993円（47,735,956円） 《主な内訳》 - 人件費等 20,973,787円（20,815,881円） - 原材料費 15,513,021円（10,820,314円） ・収入－支出 △3,931,559円（952,604円） 《収支差額の主な要因》 （収入減）・利用料金収入 対前年度1,164,200円の減 ・雑収入 対前年度652,926円の減 （支出増）・人件費等 対前年度157,906円の増 ・原材料費 対前年度4,692,707円の増 ・車両費 対前年度482,533円の増 ・令和6年度・令和7年度収支比較【資料2】
4 管理運営状況	・公共牧場の有効活用を図ることを目的として利用者で組織する千歳市営牧場利用者協議会や石狩農業改良普及センター等の意見を聞きながら、配合飼料の適切な給餌を行い、良好な栄養状態となるよう努めている。 ・管理人住宅に職員1名を常駐し、緊急時の連絡体制を整えている。 ・電気柵による放牧地の分割管理を行い、効率的な運用を図っている。 ・専門機関である石狩農業改良普及センターや北海道農業共済組合、北海道石狩家畜保健衛生所と連携し、牧場への病原体持ち込み防止や消毒など飼養衛生管理や健康管理に努めている。また、良好な牧草やデントコーンを収穫するため、収穫時期等計画的に行っている。
5 自主事業の達成状況	・地域農業の実態への理解を深めるため、駒里小学校の市営牧場の見学機会を設け、防疫対策の学習も含めた食農教育を行った。

6 市民サービスの向上を図るための取組み	・千歳市営牧場利用者協議会から、配合飼料の適切な給餌の要望があることから、配合飼料の給餌を栄養バランスを考えながら継続するとともに、入牧当初からの発育不全・栄養不良等を解消するため、獣医師の指導のもと対象牛の給餌量を増やすなど個別の対応により発育不良の改善に努めている。
7 評価 ＜総合コメント＞	・市営牧場における職員体制は、繁忙期や緊急時において不足している状態である。そのため、適切な人員確保や人材育成を行うよう努める必要がある。 ・放牧地の分割管理や飼槽配置の工夫など、施設の有効活用や効率的な運用に取り組み、利便性の向上に努め、受入希望頭数に対応できている。 ・計画的な草地更新により飼料用牧草が確保されており、必要な粗飼料の供給に努めている。 ・自主事業において、駒里小学校の市営牧場の見学機会を設け、防疫対策の学習も含めた食農教育を行い、酪農、畜産に興味を持ってもらうよう努めている。 ・物価高騰の影響により、肥料等原材料費が前年度から4,692,707円の増となり、苦慮していることが伺える。 ・市で実施した利用者アンケートにおいて、「預けて戻ってきた牛の状態」の質問に対し、「満足」から「普通」の回答が13件中7件であった一方、「やや不満」から「不満」の回答が6件あることから、その6件について改善指導を行っている。 ・アンケート調査結果【資料3】

管理施設の利用状況

【資料1】

月	令和7年度・令和6年度比較							
	(R7) 月初在頭数	(R6) 月初在頭数	(R7) 入牧頭数	(R6) 入牧頭数	(R7) 退牧頭数	(R6) 退牧頭数	(R7) 月末在頭数	(R6) 月末在頭数
4	149	194	0	0	40	62	109	132
5	109	132	352	346	55	42	406	436
6	406	436	0	0	24	10	382	426
7	382	426	1	0	35	36	348	390
8	348	390	0	0	8	22	340	368
9	340	368	0	0	17	27	323	341
10	323	341	0	0	36	55	287	286
11	287	286	0	0	13	22	274	264
12	274	264	0	0	22	17	252	247
1	252	247	0	0	23	28	229	219
2	229	219	0	0	22	41	207	178
3	207	178	0	0	28	29	179	149
計			353	346	323	391		

【収入】

単位：円

項目	内訳	R6金額	R7金額	差額
受託収入	千歳市営牧場・育成畜舎指定管理料	23,967,000	23,967,000	0
利用料金収入	千歳市営牧場・育成畜舎利用料金	23,794,940	22,630,740	-1,164,200
雑収入	貯金利息	12,715	19,594	6,879
	デントコーン種子奨励金	59,400	0	-59,400
	配合飼料市況対策費	284,350	254,100	-30,250
	令和5年度千歳市営牧場光熱費高騰対策	570,155	0	-570,155
	収入合計	48,688,560	46,871,434	-1,817,126

【支出】

項目	内訳	R6金額	R7金額	差額
人件費等	給料手当	13,624,729	14,837,259	1,212,530
	臨時雇賃金	4,348,674	3,214,255	-1,134,419
	法定福利費	2,793,678	2,844,029	50,351
	福利厚生費	48,800	78,244	29,444
	小計	20,815,881	20,973,787	157,906
修繕費	農業機械修理	1,453,001	787,796	-665,205
	トラクター等車両修理	1,259,688	180,523	-1,079,165
	小計	2,712,689	968,319	-1,744,370
賃借料	自走給餌車	38,214	38,214	0
	借上車両・農機具他	101,395	62,900	-38,495
	小計	139,609	101,114	-38,495
車両費	車両費	840,395	1,314,993	474,598
	車輛任意保険料	120,067	128,002	7,935
	小計	960,462	1,442,995	482,533
施設管理費	機械警備料	281,520	201,900	-79,620
	消防設備点検	56,100	62,110	6,010
	小計	337,620	264,010	-73,610
原材料費	肥料・種子	10,057,487	14,809,240	4,751,753
	薬品他	652,227	737,781	85,554
	貯蔵品	110,600	-34,000	-144,600
	小計	10,820,314	15,513,021	4,692,707
旅費交通費		0	1,000	1,000
研修・講習会費		220,730	0	-220,730
会議費		24,408	34,288	9,880
通信費		137,396	144,165	6,769
印刷消耗品費		513,205	363,956	-149,249
水道光熱費		1,334,268	1,281,477	-52,791
燃料費		2,396,618	2,212,938	-183,680
租税・公課		4,500	0	-4,500
負担金		15,000	15,000	0
図書費		0	0	0
飼料費		2,979,688	3,445,121	465,433
手数料		104,827	131,109	26,282
委託料	千歳市営牧場に係る調査業務	1,484,780	1,526,525	41,745
消耗備品費		0	0	0
雑費		58,671	127,978	69,307
保険料	損害賠償責任保険	110,190	110,190	0
消費税		2,565,100	2,146,000	-419,100
	支出合計	47,735,956	50,802,993	3,067,037

【収入】－【支出】

952,604

-3,931,559

-4,884,163

千歳市営牧場・育成畜舎の運営に関するアンケート調査結果【千歳市実施】

1 アンケート回答率（調査件数15件 令和8年5月実施）

○回答数 13件

回答率は、86.7%

2 アンケート結果

（1） 令和7年度は千歳市営牧場に牛を何頭預けましたか。

- ① 0頭～20頭 [6] ② 21頭～40頭 [4] ③ 41頭～60頭 [3]
④ 60頭以上 [0]

（2） 市営牧場から戻ってきた牛の状態はいかがでしたか。

- ① 満足 [1] ② まあ満足 [1] ③ ふつう [5] ④ やや不満 [3]
⑤ 不満 [3]

「やや不満」、「不満」の理由

- ・ 痩せており、小さい。【3件】
- ・ 個体が小さい。ピンクアイに感染し、出荷出来ないことがあった。【1件】
- ・ 牛にばらつきがありすぎる。【1件】
- ・ 授精時期でない牛に授精しているケースが数件あった。分娩時のトラブルに繋がるため、サイズがあったとしても月齢管理していただきたい。【1件】

（3） 千歳市営牧場を利用する主な理由は何ですか。（複数回答可）

- ① 放牧により、牛の健康増進が図られる [6]
② 利用料金が安い [8]
③ 畜舎スペースの確保 [12]
④ 労働負担の軽減 [12]
⑤ 飼料基盤の節減 [8]
⑥ その他 [0]

（4） 全体的な育成管理状況やお気づきの点について、ご意見等ありましたらお聞かせください。

- ・ 入牧の段階で状態の悪い牛は受け入れないなど、入牧条件をもう少し厳しくしてもいい。
- ・ 発育不良、痩せすぎ、エサが足りない。

- ・授精時期でない牛に授精しているケースがあり、月齢管理がされていない。
- ・管理者の技術向上に努めてもらいたい。（牧場管理の後継者育成に重点を）
- ・以前より少し改善している。

などがあり、全体的に給餌の不足による発育不良と、栄養不足による受胎率の悪化を上げて、給餌量（粗飼料・濃厚飼料など）を増やしてほしいとの意見が多かった。